

発 行 所

〒862-8676

熊本市大江5丁目2-1

九州学院

TEL (096) 364-6134

FAX (096) 363-2576

http://www.kyugaku.ed.jp/

発行人 内村公春

編輯人 小手川 勲

印刷所 (株)河田印刷

熊本市近見8丁目5-105

TEL 096 - 353 - 1049

九学通信



2009 年度年間聖句

「励ましあい、
お互いの向上に
心がけなさい。」

テサロニケの信徒への手紙(一)

5章 11節

“Encourage one another and
build up each other.”
1 THESSALONIANS 5:11
(NRSV)

「ありのままの君で」

チャブレン 富島裕史

夜回り先生で有名な水谷修先生の詩に、「いいんだよ」という作品があります。

苦しみは見せるもの 悩みは叫ぶもの。
隠てかかえ込めば さらに苦しみ、さらに悩むことに。
弱い自分見せよう 一人でも多くの人に。
優しい目で受け止めてくれた人 その人は一生の友だち。

病気になって入院するという事は、弱い立場に置かれるということだと思います。人のお世話にならなければならない、弱い存在でしかない自分に気がつかされるからです。私の先輩で網膜剥離のため緊急手術をした牧師がいます。眼の手術の後に、おそ一日間、看護師さんが「白衣の天使」に見えただけでなく、すべての人が天使のように白く輝いて見えるという不思議な体験をしたといひます。そして、イエスの姿が白く輝いて見えたという聖書の物語は、その輝きの中で、弟子たちが自分自身の、はかなさ、無力さといったものを知らされた出来事ではなかったのかと言っていました。

しかし、そのような弱さや無力さを、そっと受け止めてくださるお方がおられるのです。このような神さまの言葉があります。「わたしの目にあなたは値高く、貴く、わたしはあなたを愛してる」(イザヤ書43章4節)。これは私たちが、「もうだめだ」と思えるような弱い立場にあるときにだけ、心に響いてくる声なのかも知れません。私の先輩は、体力が回復すると共に、周囲の白い輝きは見えなくなっていくと言っていました。弱いときにだけ見えてくる神さまの恵みの世界があるのですね。

いつくしみ深きイエスは、小さく弱い私たちを友として招き、温かな愛で包んでくださいます。このイエスを信じるとき、自分の無力さの中で不思議な信仰の強さ、恵みを与えられることができるのです。

三月に入り、高校、中学、幼稚園と相次いで卒業「園」式が行われ、五・八名が多くの感動を胸に抱いて、それぞれに巣立って行きました。

この感動は冬のオリシピックのフィギュアスケートで、日本に銀メダルをもたらしてくれた浅田真央選手がフリーの演技後に語った「長かったというか、あつという間だった」という言葉とも通じる部分があります。おそらく一人一人の卒業生(卒園児)にとって、3年間のさまざまな想いが蘇る卒業「園」式であったからです。そんな卒業生(卒園児)たちを送りながら、東井義雄さんの次のような言葉を思い出していました。

「根のある草は、芽をふく、花ひらく。われわれにとって「根」とは何か。」そして根は目には見えないけれど「見えないところがほんものにならないと、見えるところもほんものにならない。見えないものが、見えるところをささえ、生かしている。」と続きます。

今の社会を見ていると、残念ながら見えないものを見ようとする努力が疎かにされているように感じます。さらに情報伝達のスピードの速さに見られるように、テンポの速い社会となったことが、私たちが心の余裕や立ち止まって考える時間を奪ってしまったように思います。

す。しかし命、心、思いやり、気配りなどは、簡単に見えないものではあるからこそ、きちんと見るための努力が必要なのです。聖書に次の有名な箇所があります。「何事にも時があり、天の下の出来事にはすべて定められた時がある。(中略)」

泣く時、笑う時、嘆く時、踊る時(コヘレトの言葉)。「私たちが立ち止まる時、見えないものに目を注げる時の一つが、卒業の時なのです。そして卒業生の皆さんには、実は九州学院での毎朝の礼拝が、こうした時間であつたことを思い出して

「見えないものに目を注ぐ」

九州学院 院長 内村公春

09 全国優勝祝賀会を開催

2月5日(金)、九州学院全国優勝祝賀会が熊本ホテルキャッスルで行われ、学校から記念品が贈られました。懇親会の後、校歌斉唱、万歳三唱でお開きとなりました。

なお、受賞者は次の通りです。

持原 大希(3年) 永井 雪新(3年) 真田 裕之(2年) 曾我 貴昭(2年) 監督・米田敏郎

*第26回若鷲旗剣道大会

*第13回聖皇宮本武蔵顕彰全国小学生剣道大会

*第44回全日本剣道錬成大会

以上3大会でいずれも団体優勝

高校剣道部

下窪 健吾(3年)

茂田 大貴(3年)

本田龍次郎(3年)

東郷 知大(2年)

辻 昌太(2年)

山口 卓也(2年)

監督・米田敏郎

*第25回若潮杯争奪武道大会 団体 優勝

(個人の部)

池端 宏文(2年)

*平成21年度全国高等学校総合体育大会 競泳男子100mバタフライ優勝

*平成21年度全国ジュニアオリンピック夏季大会 50mバタフライ優勝

12月20日に全国高校駅伝競走大会が京都で行われ、九州学院は2時間5分7秒の5位で4年連続12度目の入賞を果たしました。



全国高校駅伝
5位・4年連続入賞
久保田が区間賞

*第60回全国高等学校駅伝競走大会
7区 区間優勝

テレビ番組のお知らせ

創立100周年記念番組を2011年、夏〜秋にTKUより放映します。只今、記録映画制作を準備中です。是非、ご期待下さい。

百年の想い世代を超えて

九州学院創立百周年
PRのラッピングバスが
2010年4月から
走ります。



九州学院は2011年に創立百周年を迎えます。

合唱部が3年連続 アンサンブル・コンテスト 全国大会

2月7日、ウイングま
つばせ文化ホールで行
われた、第8回熊本県
ヴォーカル・アンサン
ブル・フェスティバルに
出場した合唱部は、九学
でも「熱唱し、インプ
レーション賞を受賞しま
した。

県高校英語暗唱大会 で入賞

これにより、アンサン
ブル・コンテスト全国大
会高等学校部門推薦およ
び、熊本県高等学校総合
文化祭推薦を受け、3月
に福島県で開催される第
3回アンサンブル・コン
テスト全国大会に3年連
続の出場が決定しまし
た。

書道展でも優秀な成績

第31回読売学生書道展

運動クラブの戦績

(12月20日～3月14日)

バスケットボール部

新人戦
(1月10・11・16・17日)
〈玉名市総合体育館〉
3位
全国高校柔道選手権
県予選兼新人柔道大会
(1月31日)
優勝 宮川 カイ(2年)
2位 藤田 勇心(1年)
3位 佐伯 勇磨(2年)

ハンドボール部

第33回全国高校選抜ハン
ドボール大会出場
(3月25・30日)
〈岩手県花巻市〉
優勝 宮川 カイ(2年)
2位 藤田 勇心(1年)
3位 佐伯 勇磨(2年)

ラグビー部

全九州新人ラグビーフ
ットボール大会
(2月19・23日)
〈福岡県グローバルアリーナ〉
準優勝
▽Bパート
熊本県新人ラグビーフ
ットボール大会
(2月5・6・7日)
〈福岡大学体育館〉

卓球部

平成21年度第38回九州高
校選抜ハンドボール大会
(2月5・6・7日)
〈福岡大学体育館〉

これまで優勝をはじめ多
くの上位入賞者を輩出し
ています。

なお、1位から5位ま
での入賞者はほとんど差
がない。審判員のみなさん
をかなり悩ませたことが
審査委員長からコメント
されました。

高校将棋
全国新人大会に出場
(1月28日～30日、山口
市のホテルニュータナカ
で開かれた。第18回全国
高校将棋新人大会(全国
高校文化連盟、山口県高
校文化連盟)に出場して
いた森崎盛一朗君(高1)
は決勝トーナメントに進
みましたが、惜しくも敗
れました。

森崎君は昨年の県高校
総合文化祭でも優勝し、
三重県で開かれた全国大
会に出場。また第22回全
国高校将棋竜王戦(読売
新聞社、日本将棋連盟主
催)の県大会も制し、福
岡市での全国大会にも出
場するなど、1年生なが
ら熊本県の高校生の代表
として活躍しています。

九州高校放送に
2名が出場
(12月16日～18日)に
沖縄県男女共同参画セン
ター「『ていする』で開か
れた『第31回九州高等学
校放送コンテスト』ならび
に校内放送活動研究会集
会。本田選手は3月1日
に卒業、日本体育大学へ
の進学が決まっております。

本田選手が「大賞」
宮本選手に「奨励賞」
1月16日、熊本県に
おいて、2009年の国
内外のアマチュア競技会
で活躍した県関係選手な
どをたたえる「第40回熊
本スポーツ賞」の授賞式
が行われました。

池端宏文選手が「熊日
スポーツ大賞」を受賞。
同選手は競泳男子パタ
フライの全国総体100m
とジュニアオリンピック
50mをいずれも高校新
で優勝するなどの活躍
をしました。また、国体
の少年競泳男子1000
m自由形で優勝した宮本
選手(高3)が、「熊
日スポーツ奨励賞」を受賞
しました。ほんとうにお
めでたうございました。

空手道部
熊本県・2年生大会
(2月7日)
〈秀岳館高等学校体育館〉
優勝 田上 康平
▽一年男子個人組手
優勝 中野 瑞紀
3位 橋本 康平
▽一年女子個人組手
優勝 川上真莉奈
▽二年男子個人組手
準優勝 村上 裕樹
3位 山内征九郎
5位 田代 峻
5位 高見 大樹
5位 野口 鉄兵

剣道部
全国選抜予選
(1月23・24日)
〈菊池市総合体育館〉
優勝 赤木 希
3位 吉安 珠貴
九州選抜大会
(2月13・14日)
〈大分ベッパアリーナ〉
▽男子個人
優勝 知大(2年)
3位 辻 昌太(2年)
▽男子団体
優勝 菅原 孝義(1年)
2位 菅原 孝義(1年)
3位 菅原 孝義(1年)
4位 菅原 孝義(1年)
5位 菅原 孝義(1年)
6位 菅原 孝義(1年)
7位 菅原 孝義(1年)
8位 菅原 孝義(1年)
9位 菅原 孝義(1年)
10位 菅原 孝義(1年)

水泳部
春季選手権
(1月16・17日)
〈アクトドーム〉
▽200m自由形
4位 弦巻かなえ(1年)
▽200m自由形
1位 福島 拓朗(1年)
2位 西 一帆(3年)
3位 西 一帆(3年)
4位 西 一帆(3年)
5位 西 一帆(3年)
6位 西 一帆(3年)
7位 西 一帆(3年)
8位 西 一帆(3年)
9位 西 一帆(3年)
10位 西 一帆(3年)

卓球部
熊本県卓球選手権大会
(1月16日)
区間8位
元村 大地(3年)
準優勝 チアリーアップ賞

陸上部
第50回県高校クロスカン
トリー大会
(1月6日)
〈農業公園〉
▽女子短・跳・投の部2K
3位 渡邊 結奈(1年)
7位 松下 沙代(1年)
日本ジュニア室内陸上競
技大会
(2月11日)
▽大阪
▽60H
9位 藤本 優未(1年)

チアダンス部
USAリジョナル・コ
ンペティション2010
九州大会(福岡大会)
(1月16日)

女子陸上部
第50回県高校クロスカン
トリー大会
(1月6日)
〈農業公園〉
▽女子短・跳・投の部2K
3位 渡邊 結奈(1年)
7位 松下 沙代(1年)
日本ジュニア室内陸上競
技大会
(2月11日)
▽大阪
▽60H
9位 藤本 優未(1年)

チアダンス部
USAリジョナル・コ
ンペティション2010
九州大会(福岡大会)
(1月16日)

女子陸上部
第50回県高校クロスカン
トリー大会
(1月6日)
〈農業公園〉
▽女子短・跳・投の部2K
3位 渡邊 結奈(1年)
7位 松下 沙代(1年)
日本ジュニア室内陸上競
技大会
(2月11日)
▽大阪
▽60H
9位 藤本 優未(1年)

チアダンス部
USAリジョナル・コ
ンペティション2010
九州大会(福岡大会)
(1月16日)

女子陸上部
第50回県高校クロスカン
トリー大会
(1月6日)
〈農業公園〉
▽女子短・跳・投の部2K
3位 渡邊 結奈(1年)
7位 松下 沙代(1年)
日本ジュニア室内陸上競
技大会
(2月11日)
▽大阪
▽60H
9位 藤本 優未(1年)

チアダンス部
USAリジョナル・コ
ンペティション2010
九州大会(福岡大会)
(1月16日)

女子陸上部
第50回県高校クロスカン
トリー大会
(1月6日)
〈農業公園〉
▽女子短・跳・投の部2K
3位 渡邊 結奈(1年)
7位 松下 沙代(1年)
日本ジュニア室内陸上競
技大会
(2月11日)
▽大阪
▽60H
9位 藤本 優未(1年)

チアダンス部
USAリジョナル・コ
ンペティション2010
九州大会(福岡大会)
(1月16日)

女子陸上部
第50回県高校クロスカン
トリー大会
(1月6日)
〈農業公園〉
▽女子短・跳・投の部2K
3位 渡邊 結奈(1年)
7位 松下 沙代(1年)
日本ジュニア室内陸上競
技大会
(2月11日)
▽大阪
▽60H
9位 藤本 優未(1年)

チアダンス部
USAリジョナル・コ
ンペティション2010
九州大会(福岡大会)
(1月16日)

女子陸上部
第50回県高校クロスカン
トリー大会
(1月6日)
〈農業公園〉
▽女子短・跳・投の部2K
3位 渡邊 結奈(1年)
7位 松下 沙代(1年)
日本ジュニア室内陸上競
技大会
(2月11日)
▽大阪
▽60H
9位 藤本 優未(1年)

チアダンス部
USAリジョナル・コ
ンペティション2010
九州大会(福岡大会)
(1月16日)

女子陸上部
第50回県高校クロスカン
トリー大会
(1月6日)
〈農業公園〉
▽女子短・跳・投の部2K
3位 渡邊 結奈(1年)
7位 松下 沙代(1年)
日本ジュニア室内陸上競
技大会
(2月11日)
▽大阪
▽60H
9位 藤本 優未(1年)



本田 匠選手

本田匠選手が 世界クロカンの 日本代表に

3月1日、本田匠選手
(高3)は、在学中の各種
大会での活躍が認められ
世界クロスカントリー選
手権のジュニア男子日本
代表の一人として、日本
陸連から派遣されることが
決定しました。同大会は
3月28日ポランドの
ビドゴンチで開催されま
す。本田選手は3月1日
に卒業、日本体育大学へ
の進学が決まっております。

池端選手が「大賞」 宮本選手に「奨励賞」

1月16日、熊本県に
おいて、2009年の国
内外のアマチュア競技会
で活躍した県関係選手な
どをたたえる「第40回熊
本スポーツ賞」の授賞式
が行われました。

池端宏文選手が「熊日
スポーツ大賞」を受賞。
同選手は競泳男子パタ
フライの全国総体100m
とジュニアオリンピック
50mをいずれも高校新
で優勝するなどの活躍
をしました。また、国体
の少年競泳男子1000
m自由形で優勝した宮本
選手(高3)が、「熊
日スポーツ奨励賞」を受賞
しました。ほんとうにお
めでたうございました。

春の全国大会に8部参加

この春に各地で行われる高等学校の各部の全国大会に九州学院から8部が参加、その中には3年連続の合唱部も含まれています。

剣道部	第19回全国高等学校選抜剣道大会	3月27日～3月28日	愛知県・春日井市
ハンドボール部	第33回全国高等学校選抜ハンドボール大会	3月27日～3月28日	岩手県・花巻市
空手道部	第29回全国高等学校選抜空手道大会男女	3月25日～3月27日	宮城県・栗原市
合唱部	第3回声楽アンサンブルコンテスト全国大会	3月20日～3月22日	福島県・福島市

空手道部	第29回全国高等学校選抜空手道大会男女	3月25日～3月27日	宮城県・栗原市
柔道部	第32回全国高等学校柔道選手権大会	3月20日～3月21日	東京都・武道館
卓球部	第37回全国高等学校卓球大会	3月26日～3月28日	福島県・郡山市
自転車競技部	平成21年度全国高等学校自転車競技大会	3月24日～3月27日	福岡県・北九州市
ボクシング部	平成21年度全国高等学校ボクシング競技大会	3月22日～3月25日	群馬県・前橋市



「やさしい目が、きよらかな目が、今日もわたしを見ていてくださる・」。これはみどり幼稚園で3月に毎

朝、繰り返し歌う讃美歌の一節です。82名の園児たち一人ひとりに向けられた神様のまなざしを覚え、子どもたちの個性や

また「ふたば会」（保護者会）は、子ども支援活動の一環として「童話を通しての心の成長」（講師・葉山祥輝氏）と題して講演会を催しました。同氏の生の子育て体験や自然との触れ合いによって生まれた童話、エッセイの世界を通して語られたお話は、お母さま方にとってよき学びの時間となりました。

さて、最後に年長（ゆり組）30名は、3月16日に卒園式を迎えます。春の息吹を受けて、自然の草花のようにすくすく成長し、巣立っていきます。



九州学院は2011年に創立100周年を迎えます。現在、募金委員会、事業委員会、行事委員会、3委員会、百周年記念事業を成功させるために、鋭意準備を進めています。特に募金委員会では、春先から企業・団体等に対する本格的な募金活動を開始する予定です。引き続きよろしくご協力をお願い申し上げます。

九州学院は2011年に創立100周年を迎えます。現在、募金委員会、事業委員会、行事委員会、3委員会、百周年記念事業を成功させるために、鋭意準備を進めています。特に募金委員会では、春先から企業・団体等に対する本格的な募金活動を開始する予定です。引き続きよろしくご協力をお願い申し上げます。

進路室だより 同志社は20人の推薦枠 国公立大学でも健闘

ここ数年、推薦入試で大学進学をする生徒の割合が全国的に増えている。九州の場合、進学を希望する生徒が9割程度いるが、一つのチャンスとしてこの入試制度を積極的に活用する生徒の数は多い。生徒のニーズに合った大学・学部からの指定校推薦の依頼が多いからでもある。今年は148大学から指定校推薦の依頼があったが、その中には、20人の推薦枠のある*同志社大学も含まれている。他にも国際基督教大学、明治大学、法政大学、立教大学等の首都圏の大学、関西学院大学、関西大学等の関西の大学、福岡大学、西南学院大学等の福岡の大学、そして地元の熊本学園大学、保健科学大学等があり、推薦入試での合格者数は180人以上になる。

国公立大学にも推薦入試制度があり、2月の前期一般入試を前に、筑波大学（1名）、熊本大学（3名）、熊本県立大学（6名）、鹿屋体育大学（1名）に合計11名が合格している。

一方で、一般入試やセンター試験を通して国公立大学やハイレベルの私立大学をチャレンジする生徒の数も増えている。今年のセンター試験志願者は昨年より20人以上増えて101人であった。高得点を取った生徒たちの中には、東京大学や一橋大学挑戦者もいるが、地元志向を反映して九州内の大学を選ぶ生徒の割合が高い。昨年の国公立大学合格者（28人）を上回る結果が期待されている。

（※九州と同志社大学は、キリスト教連携ネットワークで特別に結ばれている。このネットワーク提携で同志社大学と連携しているのは全国で5高校、九州では九州のみである。）

（進路部長 阿部 英樹）

2010 高校入試結果

昨年度は定員の関係から一般生が2倍を超え、奨学生・専願生も高倍率となり、厳しかったため、本年度は受験生が本校への出願を控え、全般的な志願者減となりました。公立高校授業料無償化が打ち出されたこともあり、県下私学全体に影響が及んだようです。九州を切望する精鋭受験生たちが挑んだ2010年度入試となりました。

2009年 中学校活動の記録

（2009年12月～2010年1月）

優勝

（団体）

剣道 第27回若鷲旗剣道大会 ※6年連続6度目
加藤清正公顕彰全国中学生剣道大会
野球 北部地区1年生大会

（個人）

柔道 熊本市新人柔道大会男子55kg級 米村 克麻（2年）
熊本市新人柔道大会女子63kg級 清田 麗衣（1年）
水泳 熊本県春季選手権水泳競技大会
（クラスB男子200m バタフライ） 瀬戸口裕嗣（2年）

準優勝

（団体）

柔道 第5回九州地区中学校柔道優勝大会（諫早市）男子団体
熊本市新人柔道大会 男子団体

（個人）

第8回鳳凰杯全国中学校英語スピーチコンテスト
朝日新聞社特別賞 岡本 承弘（3年）
柔道 熊本市新人柔道大会男子81kg級 境 祐希（1年）
熊本市新人柔道大会女子52kg級 上田 奈那（1年）
2年男子シングルの部 中島 弘陽（2年）
水泳 熊本県春季選手権水泳競技大会
（クラスB男子50m 自由形） 瀬戸口裕嗣（2年）
熊本県春季選手権水泳競技大会
（クラスB男子100m 自由形） 瀬戸口裕嗣（2年）
熊本県春季選手権水泳競技大会
（クラスB男子200m 自由形） 瀬戸口裕嗣（2年）
熊本県春季選手権水泳競技大会
（クラスB男子100m バタフライ） 瀬戸口裕嗣（2年）
九州カップ水泳競技大会
（男子200m 自由形） 瀬戸口裕嗣（2年）
九州カップ水泳競技大会
（男子400m 自由形） 瀬戸口裕嗣（2年）

3位

（団体）

柔道 第22回県下中学校柔道団体優勝大会 男子団体
熊本市新人柔道大会 女子団体

（個人）

柔道 熊本市新人柔道大会男子81kg級 合瀬 勝緒（1年）
熊本市新人柔道大会男子60kg級 原田 楽太（1年）



毎年恒例となりました。2月25日（木）アクア「J」スケート研修が、最初スケート靴の履き方から始まり、初めてスケート

九中コーナースケート恒例のスケート研修

ドームくもとでありました。体育の授業の一環ということで、中学1年生全員が参加しました。2月25日（木）アクア「J」スケート研修が、最初スケート靴の履き方から始まり、初めてスケート

運動公園で駅伝大会

2月3日（水）、熊本県民運動公園にて「校内駅伝」がありました。今年度は陸上競技場内が工事中ということで、コースが少し変更になりましたが、みんな高校生のお兄さん・お姉さん達に交じって一生懸命頑張っていました。この大会はクラス対抗とあつて、一本のタスキをいかに早く次の人に渡すか、応援の方も自然と力が入っていました。1月9日（土）、奨学生・専願生の入試が行われ、約150名が受験しました。

2010中学入試結果

また2月6日（土）には、一般生の入試も行われ、約30名が受験しました。午前中に国語、社会、理科、算数の試験があり、昼からは5人一組のグループ面接が行われました。4月からは、120名（予定）が新たに「九学ファミリー」に加わります。※入試結果はHPをご参照下さい。

中1のスケート研修の日、中学2年生は、中学校アリーナで「百人一首かるた大会」を行いました。今回が初めての試みで、前日夜遅くまで先生方は準備におわれていました。大会当日は熱気にあふれ、みんな真剣な表情で取り組んでいました。中には得意な生徒もいて、一人で何十枚も取っている姿というものは素敵です。最後に生徒に感想を聞いてみたら、みんな「たのしかった」の一言でした。



中1は百人一首かるた大会

高2が修学旅行 海外、北海道、東京の3コース

2月23日(一部21日)から26日まで高校2年生の修学旅行が行われました。ここしばらくは高校1年次のこの時期に実施していましたが、諸事情により今年度から高校2年次に行うことになりました。

行き先は三つの希望コースに分かれ、教師がそれぞれのコースを率いました。シンガポール・マレーシアコースには42名が参加、有名なマライオン公園やセントーサ島などの観光をはじめ、ナイトサファリの見学も含まれる豪華なものでした。連日30度以上の暑さで、慣れるのに少し大変だったようです。

北海道のスキー研修コースには129名が参加し、札幌国際スキー場でスキー実習を中心に札幌や小樽での観光も楽しみました。普段はあまり雪を見たことのない生徒諸君は、素晴らしい銀世界に魅了されました。

また、東京研修コースは国会議事堂、東京タワー、日本科学未来館、お台場などの見学の他、東京ディズニーランドや都内の自主研修がメインの人気コースで、191名が参加しました。

参加者全員が、生涯の思い出に残る素晴らしい旅行が出来たことでしょう。

恒例 校内駅伝大会
寒風に負けず力走
節分の日(2月3日)に九州学院恒例の校内駅伝大会が、運動公園で行われました。

寒いとはいえず春を翌日に控えたこの朝は、冷たい風の中に生まれたばかりの春を感じさせられるような好天で、生徒たちは元気に良い汗を流しました。

この大会は自宅研修中の高校3年生を除く、高校の各クラスから代表の男女2・3チームの選手たちが男子7区(中学生



創立記念日講演会
「See you 命の光」
ルートル学院大 市川一宏学長が講座

本校では毎年1月19日の創立記念日にあわせ、記念講演会を開催しています。昨年に引き続き、「いのちの光」をテーマにしている今年は、東京にあるルートル学院大学の市川一宏学長を講師としてお招きし、「See you 命の光」という演題で記念講演をしていただきました。

市川先生は社会福祉・地域福

祉政策・高齢者福祉政策などが専門で、全国福祉協議会をはじめとして様々な社会福祉活動に携わっておられます。

先生はワーポイントを用いて、時には降壇して生徒たちの中に入りながら、講演をされました。お話の内容は次のようなものでした。

「See you」とは、目に見えない大切な命の光を、心の目で見ること。ありがとうに始まり、ありがとうで終わる一人一人の人生を目指すこと。すなわち、命の大切さを

知ること。人は一人で生きていくのではない。愛されている事を覚えること。お互いの存在を認め、絆(きずな)を大切にすること。

この日は平野部でも霜が降りるほどの寒い朝で、会場となった体育館は冷え冷えとしていましたが、1時間半に及ぶ熱気あふれる先生のお話に生徒たちは熱心に耳を傾けていました。

講演に先立ち富島チャレンの司式で記念礼拝が行われ、終了後は全員で校歌を高らかに斉唱



豪州の姉妹校留学生
ジャクリーヌ・ラオさんが帰国



九州学院と姉妹校のオーストラリア・インマヌエルカレッジからの留学生ジャクリーヌ・ラオさんは、九州学院での1年間の学びを終え1月11日に帰国しました。

ジャッキ(通称)さんは中国系のオーストラリア人で、生徒の家にホームステイをし通学をしていました。英語、広

東語に加え、熊本弁も出るほどに日本語も上達しました。弓道部に所属しESSの活動にも協力しました。

ホームステイでお世話になりました皆様、ありがとうございました。

九州学院広報委員会
結方 徹・田端 圭二
池水 清・藤本 誠
藤森 正彦・村上 洋也
山崎 哲央・磯田 一成
藤本 尚美・小手川 勲

クリスマス献金

このほど、2009年度のクリスマス献金の収支報告が発表されました。これは12月のクリスマス時に生徒や保護者の皆さんをはじめ、教職員や関係者からの献金です。

この中には燭火礼拝や愛寮の礼拝時の献金も含まれています。献金額は420,649円で、次の各団体に寄付されました。

NHK歳末助け合い、日本ユニセフ協会、光の子会、日本聾唖学校、金ヶ崎喜望の家、熊本ライトハウス愛育会、Child Fund Japan、首人伝道愛の会に各5万円、国際飢餓対策機構に2万円、残

善意の募金に感謝

クリスマス献金は42万円以上に

金64,900円は次年度繰越となります。

ハイチ地震募金
1月13日(現地12日)にカリブ海地域のハイチで発生した地震災害に対して九州学院では中高生徒会とボランティア部が共同で「ハイチ地震緊急災害義援募金運動」を企画しました。

1月27日(水)・2月5日(金)までみなさんに募金を呼びかけましたところ49,691円が集まりました。

「ハイチ地震募金」に全額を送金致しました。ご協力ありがとうございました。

花岡山山頂で『熊本バンド』の記念早天祈禱会



原教授と同志社大学への進学が決まっている生徒たち

日本におけるキリスト教プロテスタントの源流のひとつとなった『熊本バンド』の結成134年を記念して、1月30日(土)午前6時30分から、花岡山山頂で早天祈禱会が開かれました。

熊本草葉町教会などでつくる実行委員会(小山哲夫委員長)が主催するもので、毎年この日に行われています。

九州学院からも敬愛会(宗教部)のメンバーや同志社大学への進学が決まっている高校3年生や教師が参加しました。生徒の中には朝が早いために前日から九学会館に泊まり込んで参加した人々もいました。

厳しい冷え込みの中、信者や高校生ら約300人が参列し賛美歌を合唱。同バンドの宣言文「奉教趣意書」の口語訳を九州学院高2年西洋平君が朗読しました。

また、原誠同志社大学神学部教授が「使命を与えられる一知ったものの責任」というテーマで奨励をされ、参加者は「ハイチの大地震では多くの人が今も苦しんでいる。世界の恵まれない環境にある人々に慈しみが与えられますように」などと祈りました。参加した皆さんは、寒い中朝早くからお疲れ様でした。

権 「いじめ、命、仲間」 飯開輝久雄さんの歌と語り 学習会

高校3年生の最終登校日の1月22日(金)、多目的ホールで「人権学習会」が開かれました。この会は部落問題をはじめとするさまざまな人権問題に向きあうことで、差別の現実、またその解決への課題を考える契機とするともに、各自の人権意識を高めることを目的として毎年この時期に行われています。

今回は九州学院OB(1983卒)で合志市役所総務企画部総務課の飯開輝久雄主幹をお迎えして「いじめ、命、仲間」という演題で講演をして頂きました。

同氏は人権バンド「ゆう」を組み、人権に関する唄と講演で、九州はもとより全国的な活動を広げ、役に立つ善人として第一線で活躍する先輩のパフォーマンスに感動した生徒たちの拍手はいつまでも鳴りやみませんでした。

母校に誇りを持ち続け、役に立つ善人として第一線で活躍する先輩のパフォーマンスに感動した生徒たちの拍手はいつまでも鳴りやみませんでした。

「死なないで。この世の問題は、この世で絶対解決出来るのだから。苦しかったら誰かに話そう。いつもありがたうの気持ちをお口にしよう。」などと熱く語りかけ、ギターとハーモニカの演奏にしたオリジナル・ソング数曲を歌いました。

九州学院広報委員会